

## 4. 高齢期

### この時期のてんかんの特徴

てんかんが発症する年齢で最も多いのは65歳以降の高齢期です。近年は長寿社会でもあり、てんかんのある高齢者も増えています。脳卒中のような脳の病気の後遺症として発症することが多く、他にも認知症と関連して発症することも知られています。この時期に発症するてんかん発作はほぼ焦点性てんかん発作です。症状として、けいれん発作を起こすことが少なく、一時的に意識がぼんやりしたり、その場にそぐわないおかしい行動が見られたりする発作が多く、最初はその症状がてんかん発作とはわからず、単に認知症と診断される場合もあります。治療は焦点性てんかんに準じた薬物治療が行われますが、他にも持病を持っていることが多い年代なので、副作用や複数の薬の飲み合わせにも注意する必要があります。



## 生活介護の必要性

人は歳を重ね、次第に運動能力や判断能力が衰えていくことは宿命です。加えて脳卒中の後遺症としててんかンを発症した場合は、他にも運動麻痺や言語障害などの身体的な後遺症を有している場合も多いでしょう。認知症と合併した場合は、記憶力や判断力だけでなく、日常生活動作そのものにも問題や不自由を抱えることになるかもしれません。そのような際には、同居家族がいる場合でも、何かしら介護や支援が必要になってきます。このように介護や支援が必要な人たちが住み慣れた地域で安心して暮らしていくための制度が介護保険です。40歳以上のみなさんが加入者となって保険料を納め、介護が必要になったときには費用の一部を支払いサービスを利用できるしくみです。

利用するには市町役場へ申請を行い認定を受け、区分に応じたプランを作成してもらう必要があります。



## 利用できる生活介護サービス

### 在宅サービス



#### 訪問介護(ホームヘルプ)

自宅での日常生活の手助け



#### 訪問入浴・訪問リハビリ

訪問してもらい  
利用するサービス



#### 通所介護(デイサービス)

#### 通所リハビリテーション (デイケア)

施設に通って利用するサービス



#### 短期入所生活介護 (ショートステイ)

短期間施設に入所して  
利用するサービス

### 施設サービス

